

# 「未来構想方式」

産業能率大学では、2021年度入試から一般選抜において新たに未来構想方式を導入しています。2022年度では、国立大学前期入試前の第1日程(2月17日)と前期入試後の第2日程(3月6日)の2回実施します。未来構想方式では、大学入学共通テスト受験を必須としており、3教科利用方式に加え、5教科利用方式を新設します。この5教科方式の合格者は、全員無条件で学費が国立大学程度に減免されます。

3教科利用では、大学入学共通テストの得点率50%、250点(500点満点)が受験資格となっています。また、5教科利用では大学入学共通テスト5教科5科目(700点満点)が必要で、こちらは特に受験資格となる基準点は設けていません。

選考は事前記述課題と試験当日の未来構想レポートの総合評価で判定します。

未来構想レポートでは、ある地域での近未来の社会状況に関する内容とデータを分析し、対策を考えてA3用紙に記述します(右の課題文を参照)。インターネットで得られる情報を活用して考えることも可能としたため、スマートフォンやタブレットPCなどの持ち込みも認められています。

未来構想方式で入学した学生インタビュー /

自分に合った入試だったから、力を発揮できました

高校時代は、放送部に所属していて、クラブ活動の一環で地域のコミュニティFM局で番組を任されていました。FM番組で地元の農家さんや高齢者施設などを紹介するなかで、地域の問題を間近に知ることができました。未来構想方式を受験したのは、塾の先生から、私に合った入試方式があると紹介され、実際にサンプル問題を見て、地域課題について考える力を問う入試だと思い、自分に向いていると感じたからです。試験では時代背景の紹介文に加え、グラフがたくさんありました。そこには出題者の意図があるはずで、その意図を考えながら課題文を読み解きました。結果、合格通知が来たときには、自分の考えが認められたような気がして、普通の入試ではなかった高揚感が得られたのを今でも覚えています。入学後は、未来構想方式で合格したことが自信となり、能動的に学ぶことで授業も楽しくなり、とても充実しています。特に学生みんながとても積極的で、グループワークでの議論が活発なため、自分のレベルも高まっていくのを実感します。将来の目標はまだ決まっていませんが、マーケティングを活かした広告や宣伝の仕事を考えています。そのためにアグレッシブに学び続けたいですね。

## 2021年 未来構想レポート課題文(抜粋)

※大学ホームページで全ページをご覧いただけます。

### 未来構想方式

#### 【課題】

みなさんは、今、2040年2月17日の日本にいます。以下の課題文は、日本のある地域の1970年代から2040年までの歴史的な変遷を記しています。別添の図表を参照しながら課題文を読み、設問に答えなさい。

#### 【未来村の概要】

未来村は、東京から車で約2時間半の場所に位置する自然豊かな高原の村である。高原地帯特有の冷涼な気候で、昼夜の温度差が大きく、夏の降水量が多く、豪雪地帯に指定されているものの冬の降雪量はそれほど多くない。村の面積の7割を山林が占めており、村の中央部を西から東に未来川が流れ、集落の大部分はこの流域に散在している。村の一部は国立公園になっており、高原でのハイキングや温泉を目的に観光客が訪れる。

#### 【未来村の歴史】

##### 1970年代

未来村は、かつて鉱山の町として栄えていた。鉱山で働くため数多くの労働者が村に移り住み、村の人口は増加していった。しかし、1971年に鉱山が閉山となり、鉱山で働く労働者とその家族が村から流出し、急激に人口が減少した。村は主要産業を失い、村民の所得も、村の財政力も低下していった。

##### 1980年代

1980年代に入ると、村では高原地の気候を生かした高冷地野菜の栽培が盛んになっていった。特に夏秋キャベツは日本有数の生産地となり、一時は村の耕作面積の約9割がキャベツ畑になった。トラック輸送の発達により首都圏への配送が容易になったこともあり、1985年には首都圏における夏秋キャベツの80%以上を供給するようになり、日本のキャベツ産地になった。もともと、長年にわたるキャベツ集中作から、連作による育成障害がしばしば発生し、また、不作は村の経済を大きく左右するようになった。



1980年代後半になると、好景気を背景に、高原一帯が避暑地として注目され、別荘地の開発が盛んに行われるようになった。また、ゴルフ場やスキー場の開発も進み、リゾートホテルも建設された。村も、村営スキー場をオープンするなど、村のリゾート化を積極的に推進した。その結果、宿泊業や飲食業などのサービス業に従事する人の数が増え、村の人口も増加した。



経営学部  
マーケティング学科  
1年  
竹村梨花さん  
(新潟県立新井高校出身、未来構想方式で入学)



視点を つくる、提言する  
**産業能率大学**

www.sanno.ac.jp

入試センター: Tel 03-3704-1110

#### 【経営学部: 自由が丘キャンパス】

##### 経営学科

●グローバルコミュニケーションコース ●ビジネスリーダーコース ●ホスピタリティコース ●ビジネス経営コース

##### マーケティング学科

#### 【情報マネジメント学部: 湘南キャンパス】

##### 現代マネジメント学科

●デジタルビジネスデザインコース **NEW** ●マーケティング企画コース  
●スポーツマネジメントコース ●ビジネスマネジメントコース ●コンテンツビジネスコース



マーケティング・  
イニシアティブ  
がわかる動画を  
配信中